

議 長

次に、質問順位 3 番 10 番議員 森脇明美君。

議 長

森脇明美君。

森 脇 議 員

通告に基づきまして一般質問を行います。

最初に、マイナンバーカードを巡る個人情報流出につながる誤登録問題について伺います。

デジタル庁は5月23日、マイナンバーカード所持者がナンバーと公金受取口座をひも付ける際に、誤って他人名義の口座が登録されたトラブルについてマイナンバーの口座情報を点検すると発表しました。ニュース等で5月25日現在、誤登録は9自治体で計14件であり、河野太郎デジタル相は記者会見で、国民に安心してもらえる観点から総点検すると述べています。マイナンバーカードの交付枚数は、今年5月21日時点で8,996万枚、口座登録は14日時点で5,372万件に上ります。複数の人に同じ口座がひも付いているケースもシステム上で抽出し、口座とカードの氏名などを照合して早急の完了を目指しています。マイナンバーカードを巡っては、住民票の写しなどコンビニで受けるサービスで、別人の証明書を交付したり、健康保険証と一体化し、マイナ保険証の利用時に別人の医療情報を表示したりする事例も相次いでいます。

そこで、本町にマイナンバーカード所持者がナンバーと公金受取口座をひも付ける際に、誤って他人名義の口座が登録された事例があるのでしょうか、お尋ねいたします。また、和木町のマイナンバーカードの普及率もお聞かせ下さい。

議 長

渡邊企画総務課長。

渡 邊 企 画
総 務 課 長

ご質問にお答えします。

今のところ、森脇議員がおっしゃいましたような誤登録につきましては、本町や山口県内では、このような事例は発生していないと承知しております。あとお尋ねのマイナンバーカードの普及率でございますが、申請率は94.6%、申請後交付され

たところまででいきますと交付率は83.2%、このようになっています。以上です。

議長 森脇明美君。

森脇議員 本町で事例はないということですが、誤って他人名義の口座が登録される事例はどういった時に発生すると思われますか、お尋ねします。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 すでに報道されている内容によりますと、マイナポイントの申請を市役所等の共用パソコンで行った際に、前の申請者が手続きを完全に終了しないまま離席し、次の申請者が手続きを行った場合に、前の申請者の口座情報が次の申請者に登録されてしまったことから起こった事例であると言われております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今ので大体よくわかったんですが、本町は、どういう手順で行っておられるんでしょうか。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 本町ではマイナポイントの支援の際の口座登録は、支援員と住民が1対1で端末の画面を共有しながら、登録情報に誤りがないか確認しながら対応しております。手続きを完全に終了しないまま申請に来られた住民が離席するということがないようにしております。今後も、細心の注意を払って支援業務にあたり、マイナンバーカードの普及促進に努めてまいりたいと考えております。

議長 森脇明美君。

森 脇 議 員

はい、この件については理解いたしました。

先日には、マイナンバーカードと保険証が一体化する改正法が成立し、健康保険証は来年秋には廃止され、マイナンバーカードと一体化されます。今後は自動車に関わる登録や国家資格の更新などの分野にも範囲が広がります。住民に不安を持たれないようにしっかり対応をお願いいたします。

次に、今年は町制50周年ということで、蜂ヶ峯公園でも色々なイベントが企画されていると思います。先月ありましたWaki-Hachi わきはちフェスタは、朝から夜まで一日中来場者が多く大変盛況でした。バラ公園も植え替えをして少し小ぶりでしたが、全体的には430種4200本もあり、とても見応えがありました。Bee+エリアは町内事業者のお店が出され沢山の人で賑わっていましたが、成果をお尋ねし、今後企画されているイベント等について伺います。

議 長

山下都市建設課長。

山 下 都 市
建 設 課 長

蜂ヶ峯総合公園にて企画されている50周年イベントについてでございますが、まず先日5月28日におこなわれましたWaki-Hachi Festivalの成果についてお答えします。

コロナ禍の影響もあり、約3年ぶりの大規模なイベント開催となりましたが、天候にも恵まれ、Bee+エリアでは、早朝の気球搭乗体験や和木町のおよそ30店が出店したマルシェ、夜のバルーンランタンまで大いに盛り上がり、Bee+エリア誕生以来最高の集客数となり、大きな反響をいただいております。地域振興の推進に寄与する大変実りの多いものとなり、町内外へ和木町の魅力をPRできたのではないかと考えております。

今後の予定といたしましては、11月に蜂ヶ峯 IKUSA Festival としましてスポンジ製の刀を使い、家族で楽しめる多数参加型のチャンバラ合戦を行いたいと考えています。四境の役になぞられた形で行い、歴史を学べる体験型イベントを現在、企画しております。また、IKUSA Festival と同日にはアーバンスポーツイベントとしまして、スケートボードや自転車

BMX・ランバイクの体験教室を開催する予定です。

蜂ヶ峯総合公園は地域の皆様に愛される公園となるよう、遊びに来られる方々だけでなく、イベントを含めて公園運営に関わっていただける地域の皆様とともに和木町の活性化に取り組んでまいりますので、引き続きご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今後企画されるアーバンスポーツのイベントも大盛況に終わることを望みます。さらには50周年のイベントだけでなく今後このアーバンスポーツのイベント開催には期待したいと思います。次に、昨年12月定例会で蜂ヶ峯総合公園の現状と取り組みについて聞き、ローラー滑り台へ登るためのリフトカーのゴンドラ部分は撤去され、景観もよくなっています。今年度も公園整備の具体的な計画はあるのでしょうか。お尋ねします。

議長 山下課長。

山下都市建設課長 昨年12月の議会の一般質問におきまして、都市建設課内で検討委員会を実施して協議を行っているとお答えさせていただきました。今年度も引き続き、情報収集をはじめ、実証実験やアンケート調査を行いまして協議・検討を引き続き実施してまいります。今年度の実施事業についてですけれども、ウサギの観覧場所の整備に加え、園内2箇所の歩道整備を予定しております。それに加え、老朽化した高圧ケーブルの引替工事を行う予定としております。大規模リニューアルを実施するまでの期間におきましても、引き続き適正な維持・安全管理を行ってまいります。

議長 森脇明美君。

森 脇 議 員

その件については今後期待します。今回の選挙中に、町民の方から蜂ヶ峯総合公園に、ドッグランの施設を造ることが出来ないかとの要望がありました。岩国市由宇町のドッグカフェや美和町にあるドッグランの施設を参考に本町にもドッグランを設置する考えはありませんか、お尋ねします。

議 長

山下課長。

山 下 都 市
建 設 課 長

貴重なご意見をありがとうございます。蜂ヶ峯総合公園内にドッグランということでございますけれども、ドッグランのみならず、少子高齢化社会の進展やコンパニオンアニマルと呼ばれております、飼い主とペットがこれまで以上に親密な関係となる状況が浸透していることで、ペット関連のニーズや市場は大きく拡大している状況だと承知しております。他の地域におきましても都市公園内にドッグランを設置した事例はありますので設置することは可能であると思われます。但し、他の公園利用者との、他の地域の公園におきましても他の利用者とのトラブルも多く発生していると聞いております。またペット同士の接触による怪我等の問題も発生しておりますので、管理面、あと収益性などの問題もありますので慎重に検討してまいりたいと考えております。

議 長

森脇明美君。

森 脇 議 員

慎重に検討していただき、ぜひ実現に向けてお願いいたします。

次に、今までも防災関係について質問してきましたが、今回は先月発生した台風2号や、石川県能登地方と千葉県北東部等の相次ぐ地震など、全国各地で様々な災害が発生しています。

これから和木町においても、梅雨や台風などの災害が心配される時期になります。そこで防災メールや防災アプリの登録状況と未登録者へ対する周知がどのようなになっているかお尋ねします。

議長

渡邊企画総務課長。

渡邊企画
総務課長

現在、和木町防災メールの登録者は875人、防災行政無線アプリの登録者は726人でございます。より多くの人にメールやアプリを登録していただくために、和木町ホームページ、防災情報内の「町の防災情報伝達手段」に登録方法を記載したPDFファイルやQRコードを掲示しております。この他にも、広報わきの誌面や危機管理監が行った防災講話、令和2年度から開始しました和木チャンネル「みんなで防災」の中などで、命を守るための伝達手段として登録に関する啓発、周知を行ってきております。今後も住民の皆さまが各種の気象情報、防災関連情報をいち早く取得できるよう様々な媒体を通じて、防災メールや防災アプリに関する周知を図って行きたいと考えております。

議長

森脇明美君。

森脇議員

今、防災メールやアプリについて伺いました。

5月25日から気象庁は線状降水帯発生最大30分前に直前予報を出す運用が始まりました。線状降水帯は次々と発生する積乱雲が線のように連なり、同じ場所を通過・停滞することで大雨をもたらします。2018年の西日本豪雨や2020年7月熊本球磨川が氾濫した豪雨の際などにも発生しています。

直近では6月2日午前8時過ぎに、高知県で発生し、その後も和歌山県、奈良県、三重県、夕方から夜にかけては愛知県、静岡県で発生。6つの県で合計11回も線状降水帯の発生情報が出されるという初の事態となりました。本町でも線状降水帯の発生する可能性があると思いますが、町民にどのように知らせられるのでしょうか。お尋ねします。

議長

渡邊課長。

渡 邊 企 画
総 務 課 長

今、森協議員ご指摘のとおり、今月初めに四国から東海にかけての6県で線状降水帯が発生し、各地では大雨になりました。気象庁では2021年以降、線状降水帯の発生が確認され、土砂災害や洪水の危険性が急激に高まった際に、顕著な大雨に関する気象情報を発表して安全の確保を呼び掛けてまいりましたが、先ほど森協議員のご発言の中にもありましたように、本年5月25日から運用基準を変更し、線状降水帯の発生が確認される前の段階、現状では最大30分前に線状降水帯による大雨が予測された場合に前倒しして発表することとなりました。この、顕著な大雨に関する気象情報が発表される時点で、当該地域の累積雨量は150mm以上になっておりますので、土砂災害警戒情報や氾濫危険情報等が発表され、既に町は住民の皆さまに向けて、避難指示を発令している状況になります。

このとき町の体制は、避難指示発令以前であれば、災害警戒本部体制でございますが、この、顕著な大雨に関する気象情報の発表が予測される際には、災害対応の体制である、災害対策本部体制へ移行することになります。この際、避難指示を発令する地域に向けて、防災行政無線、同アプリ、防災メール、緊急メール、Lアラート、自治会長さんへの連絡、広報車による広報、こういったあらゆる手段を使って、避難情報として周知・伝達を行うこととしております。住民の皆さまには、ご自身の安全確保のため、早目早目の避難行動を心掛けていただきたいと思います。

議 長

森脇明美君。

森 協 議 員

今、線状降水帯について伺いました。本町の災害時に町民への連絡がスムーズにいくことを期待し次の質問に移ります。

自主防災組織は、主に自治会単位で組織されていると思いますが、本町の組織数はどれ位ありますか。また、自主防災組織の研修会に本町の危機管理監はどのように関わっていますか。その内容も伺います。

議長

渡邊課長。

渡邊企画
総務課長

お尋ねの町内の自主防災組織は、自治会を母体としており、現在22組織あります。危機管理監及び防災担当職員は、自主防災組織において自主的に開催される研修会の際に、依頼や要請に応じて、可能な支援を、防災講話や訓練支援等こういったことを行っております。例を挙げますと、昨年度は6月に和木小学校保護者の依頼による防災講話。令和5年3月にも関ヶ浜1地区の依頼により防災勉強会の際に講話を行っております。これらの講話の内容については和木チャンネルでも放映して広く周知を図ったところでございます。

議長

森脇明美君。

森脇議員

危機管理監の方も活躍され、2回、3回と行われているということで、これからまた利用して、ぜひ、危機管理監に活躍してもらいたいと思います。今年12月に予定されている防災訓練の内容について伺います。

議長

渡邊課長。

渡邊企画
総務課長

本年度の和木町総合防災訓練は、住民及び職員を対象に複合災害における避難情報の発令から避難所への受け入れまでの町、消防団及び住民の一連の行動を訓練することを目的として実施します。訓練内容は、最初に参加者全員で地震発生時の身を守る行動となるシェイクアウト訓練を行います。

町は、災害対策本部の指揮・統制による避難情報の発令、関係機関と連携した災害応急活動、避難所の開設とともに避難住民の受け入れを訓練します。消防団は、災害対策本部の指示による避難支援、消火活動、人命救助活動を訓練します。

住民、自主防災組織の皆様には、町の避難情報に連携した避難行動を行っていただきます。この際、個別避難計画作成の対象地区においては、計画による支援の検証、実際に可能な支援

内容になっているか、こういったところを含めて行います。

避難所に到着後は、館内で避難所環境改善資材展示の研修、部外講師による防災講話を聴講することを計画しています。

以上が現在の担当課における計画案ですが、関係機関と協議してすすめていくことにしております。

議 長 森脇明美君。

森 脇 議 員 防災訓練の内容についてはわかりました。防災訓練を終え問題点を踏まえた検証等はされるのでしょうか。

議 長 渡邊課長。

渡 邊 企 画
総 務 課 長 今回の防災訓練でも、令和元年に参加いたしました山口県総合防災訓練と同様に訓練の結果については検証を行っていきます。検証に必要な評価や指導事項は、災害対策本部では危機管理監が行い、消防団の実行動は岩国地区消防組合東出張所の職員、住民避難については和木町防災アドバイザーをお願いしたいと考えております。その後、評価や指導が必要な点について危機管理監で取りまとめ、訓練責任者である町長に今回の訓練成果として報告いたします。訓練成果の公表については予定はしておりませんが、今後の災害対策本部及び消防団の活動に反映してまいりたいと考えております。住民避難行動に関しては、今後の防災啓発活動を通じて必要な事項をお知らせいたします。また、個別避難計画に基づく検証結果は、計画の修正、運用等への改善向上に反映させてまいりたいと考えております。

議 長 森脇明美君。

森 脇 議 員 防災訓練でも問題点を各関係者でぜひ検討して頂き、検討結果を引き続き、住民に対し分かりやすい方法で伝えて欲しいと思います。

次に、令和3年7月に福岡県中間市の保育所で男児が、令和4年9月に静岡県牧之原市の認定こども園で送迎用バスに置き去りにされた園児が、熱中症により死亡するという大変痛ましい事案が発生しました。これは、園児のバス降車時に運転手、乗務職員ともに、送迎バスに園児が残っていないか確認を行わなかったこと、降車時の人数確認等を手順として決めていなかったこと等に原因があったとされています。このことを踏まえ、国において、こども園等のバス送迎に当たっての安全管理の徹底に関する関係府省会議が開催され、令和5年4月から一年間の猶予期間をもって、園児等の送迎バス車内の置き去り防止装置の義務化などの緊急対策などが取りまとめられました。

和木町こども園においても送迎バスが運行されています。今回の緊急対策に基づく安全装置について伺います。まず最初に、送迎用バスへの安全装置はいつまでに何台のバスに設置されるのでしょうか。お尋ねいたします。

議長 松井教育委員会事務局長。

松井教育委員会事務局長 こども園の園児送迎用バスへの安全装置の設置状況でございますが、現在、こども園では2台のバスを使用しております。5月22日、5月30日にそれぞれバスに安全装置の設置が完了しております。

なお、今回設置いたしました安全装置は、令和5年3月に国土交通省から示されました安全装置リストに掲載された機器を採用しております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今回の説明で5月末までに2台のバスに設置されたということで理解いたしました。その安全装置はどのような仕組みでしょうかお尋ねします。

議長 松井局長。

松井教育委員会事務局長	安全装置の仕組みでございますが、降車時確認式のもので、バスのエンジン停止後、5分以内に運転手が車内を確認して下車確認ボタンを押すだけのシンプルな仕組みでございます。この下車確認ボタンの位置は、バスの最後尾の園児の手の届かない位置に設置してあります。そのため、運転手は、車内後部まで行く必要があり、全席を確認することとなります。 万が一、5分以内に下車確認ボタンを押さなかった場合、バスの周囲に大音量のアラームで警告音を発するシステムとなっております。
議長	森脇明美君。
森脇議員	仕組みについても理解いたしました。仮に、子どもの置き去りが生じてしまった場合に対策は考えておられますか。
議長	松井局長。
松井教育委員会事務局長	仮にバスの中に子どもの置き去り等があった場合の対応策といたしまして、SOS、子どもが押すボタンでございますが、その非常ボタンが最前列の園児の手の届く位置に設置してあります。この非常ボタンは、エンジン停止時のみ作動するボタンとなっており、力の弱い園児でも簡単に押せる設計となっております。また園においては、このようなことも想定いたしまして、園児に対し、非常時ボタンの位置の確認や押し方の訓練を行っております。
議長	森脇明美君。
森脇議員	はい、わかりました。 今回の法改正等により安全装置の設置義務と共に、国において更なる置き去り防止対策として安全管理マニュアルが示されました。和木こども園では、安全装置のほか、どのような安全対策を取っているのでしょうか伺います。

議 長

松井局長。

松 井
教育委員会
事務局 長

和木こども園では、園児の安全を第一に考えており、送迎バスの運用につきましても、添乗職員及び運転手それぞれの役割を定め、置き去り防止対策を行っております。具体的には、添乗職員は、乗車前に欠席や個人登園などの確認を行い、名簿入りの添乗ファイル、非常時に備えて携帯電話を携行して乗車しております。また、バス車内において、人員確認を容易かつ確実にできるよう、園児が着席する座席を指定しております。園に到着後は、添乗職員が後部座席の園児から順番に降車させ、玄関前に整列させて全員が降車したことを確認した後に、各保育室まで連れていき、担任に引き渡しております。また、運転手は、園児の降車後、最後部座席から全員が乗車、失礼しました、全員が降車したことや忘れ物の有無を確認し、チェックシートに確認事項を記入、その後、園に提出をしております。降園時につきましても、登園時と同様に乗降時の確認をした後、添乗職員が保護者証で園児の保護者であることを確認し、保護者に引き渡しを行っております。万が一、保護者の迎えがない場合、園バスにそのまま乗車させ、こども園に連れて帰ります。その後、家庭に連絡のうえ、迎えに来ていただく、ということとしております。なお、添乗職員は、登降園のそれぞれが完了した後に添乗日誌を作成し園に提出をしております。

和木こども園の運用は、この度、国から示されました安全管理マニュアルの内容を網羅したものとなっておりますが、今後定期的な運用の見直しや点検を行い、子どもの安全に尽くしてまいりたいと考えております。

議 長

森脇明美君。

森 脇 議 員

こども園は大切な命を預かる場所です。安全装置の適切な利用をされると共に、最終的には人によるチェックを確実に実現していただき、安全で安心な園の運営に努めていただきたいと思います。以上で一般質問を終わります。

議 長 再質問ございませんか。

森 脇 議 員 ありません。

議 長 再質問がないようですので、以上で森脇明美君の一般質問を
終わります。

議 長 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

議 長 本日はこれで散会したいと思います。ご異議ありません
か。

(「なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

議 長 本日はこれで散会いたします。
お疲れさまでした。

閉 会 10時 00分